

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 山本眞輔  
幹事 吉田玄  
会報委員長 池森由幸

No.14

率先しよう

LEAD THE WAY

2006~2007年度 RI会長 ウィリアム(ビル)B.ボイド

## きょうの例会

第1154回 平成18年10月25日(水)

職場例会 於 ノリタケの森

## 先週の記録

第1153回 平成18年10月17日(火) 晴

## 優良従業員表彰

米山奨学生 楊羽君 “私の日本体験談”

### ◆ゲスト紹介

|              |        |
|--------------|--------|
| 米山奨学生        | 楊羽君    |
| 特別養護老人ホーム極楽苑 | 山口喜樹様  |
| 極楽保育園        | 金山早苗様  |
| 愛知厚生年金会館     | 平出幸博様  |
| 和田内科病院       | 岸田美栄子様 |

### ◆出席報告

|     |               |    |        |
|-----|---------------|----|--------|
| 会員  | 59 (55) 名     | 出席 | 35名    |
| 出席率 | 63.64 %       |    |        |
| 前々回 | 10月3日 (修正出席率) |    | 96.36% |

## 吉田幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方はそのままお残り下さい。
2. 次回例会は職場例会で25日(水)11時30分よりノリタケの森にて開催致しますので、24日の例会はございません。

## 宮尾会長エレクト挨拶

あの森光子の若さは、どうして維持できるのか？感激して考えて見ました。まず主人公のイメージを持ちそれになりきる。そして主人公が自分よりも若い。そのイメージに合わせてセリフを覚える。腹式呼吸で大きい声を出す。人前にいつも晒され他人を意識する。美しい自分を見せなければといつも思っている。舞台に穴をあけられないという責任感。いつも若い人に囲まれている。舞台を成功させる目標を皆で共有している。つまり同じ波動の仲間といつも一緒に働き、良い舞台を見せようと日々努力し、その事を楽しんでいる。観客の反応をいつも肌で感じ、感動を分け与えている

ことを自覚している。

私の母親は88才ですが、比較するにあまりの違いに驚くばかりです。そこで加齢に少しでも抵抗、いや同化しながら若い気持、身体を維持するイメージ法を考えてみました。1. ゆっくりと腹式呼吸を20回位行い、リラックスしたら、普通の呼吸に戻す。2. 身体の悪い所が治ったと思う。又は美しい自分のプロポーション、若い自分をイメージする。3. そのようになった自分を見て、家族や友人が喜んでくれる情景、感謝している自分をイメージする。短的に言えば、右脳の活性化をすれば良いのではないのでしょうか。

千種RCの男性方よ、いつも若さを保てる事を願ってますがいつも若い女性に囲まれているだけでは、若さは保てませんゾ！

## 優良従業員表彰



吉田職業奉仕副委員長より紹介があり、宮尾会長エレクトが表彰者に賞状と記念品を手渡されました。

| 被推薦者名              | 年齢 | 勤続年数 | 役職名              | 推薦事業所名                      |
|--------------------|----|------|------------------|-----------------------------|
| ヤマゴトチ ヨシキ<br>山口 喜樹 | 34 | 12   | サービス統括<br>マネージャー | 社会福祉法人高針福祉会<br>特別養護老人ホーム極楽苑 |
| カナヤマ サナエ<br>金山 早苗  | 45 | 25   | 主任保育士            | 社会福祉法人高針福祉会<br>極楽保育園        |
| ヒラヤマ ユキヒロ<br>平出 幸博 | 49 | 23   | 調理支配人            | 愛知厚生年金会館                    |
| キシダ ミエコ<br>岸田美栄子   | 31 | 13   | 看護師              | 医療法人 和伸会<br>和田内科病院          |

(敬称略)

## 表彰者挨拶

### ◆特別養護老人ホーム極楽苑 山口喜樹様

本日は、このような会にお招きいただき、大変感激しております。

ご承知のとおり高齢者の介護は高齢者人口の伸びとともに大きく拡大し今まさに変化の中にあります。

私の勤めた12年の間にも介護は「公的な施し」から「保険化」され介護事業者の数もそれこそ何倍にもなりました。

株式会社等の参入も進み単に介護事業だけを他と同じように行うだけでは私たち社会福祉法人の役割を果たすことが難しくなってきました。

今、認知症高齢者のケアや高齢者虐待、経済的に恵まれない方々の問題に正対し社会福祉法人としてのミッションを遂行しております。

今後、私たち高齢者介護の世界は「団塊の世代」に合わせより様々なニーズに対応する必要があり、これからは微力ではありますが「地域」をキーワードに名東区周辺の高齢者に対してセーフティネットとして“安心”を提供できるよう努力してまいります。

尚、一緒にお招きを頂いております金山は極楽保育園の主任保育士で、次代を担う子供たちのために頑張っております。

簡単ではございますが、これをもってお礼のご挨拶とさせていただきます。

### ◆愛知厚生年金会館 平出幸博様

本日はこの様な表彰と例会にお招きいただき誠にありがとうございます。又、千種ロータリークラブにおかれましては日ごろより当厚生年金会館をご利用頂き誠にありがとうございます。

さて私は厚生年金会館の昭和55年オープンと同時に入社して26年になります。当初は主に洋食を担当しバターや生クリーム、肉類を中心にフランス料理を提供して来ましたが、会館での客層は中高年の方が中心で年々健康食ブームもあって体に優しく食べておいしい料理を目指すようになり和食、中華、エスニックと言った料理をさらに研究して色々試行錯誤を重ねている毎日です。今後もそれらを繰り返しアレンジしてお客様のニーズにあった料理を提供して行きたいと思っております。

又、当会館での存続に関する問題でも日ごろから努力して頂きまして誠にありがとうございます。今後もよろしく願いいたします。

### ◆和田内科病院 岸田美栄子様

私は13年まえに長崎県から看護学生として和田内科病院に赴任してきました。看護師の資格を取るまでの4年間は仕事と学校の両立で大変苦労しましたが、院長先生はじめ、先輩方にも恵まれてここまですることができました。

私が勤める病院のホームページにこのようなフレーズがあります。

「地域の和、職場の和……。さまざまな和を大切にしながら、人と人との和やかな関係を育てていきたい。これは、和田内科病院の変わらない願いです。」

入社して13年、ここまで頑張れたのは院長先生が作り上げた和があり、職場のスタッフの方々、地域の方々を支えられたお陰だと思います。

これからもスタッフの一員として和を大切に、和になり地域に貢献していきたいと思っております。

### ◆楊 羽米山奨学生 “私の日本体験談”



日本に来る前に、一人で日本へ行くことを考えると、なんとなく不安でした。まったく新しい社会に溶け込むことが日本語にはあまり心配ない私にもよく分からないことでした。

中国にいた時、大学で初心者たちに日本語を教えていました。日本語の文法とか、日本社会のことについて学生たちに説明していた時、なかなか理解してもらえない、納得してもらえないこともありました。「先生、どうして」、「先生、そんなこともあるんですか」と、いつも聞かれました。日本での体験が全くない私には何も答えられませんでした。

その学生たちの納得いかない不思議そうな顔を思い浮かべながら、私は、日本への旅に対する不安感というより、むしろ何か期待しているような感じが強かったです。そのまま私は日本へ参りました。

日本社会を知るにつれて、びっくりすることがどんどん出てきました。まず、なんと言っても部屋の狭さです。どうしてこんなに狭い部屋に住めるのかと思いました。それに、温泉もその一つです。なかなか他の人と一緒に入るのは恥ずかしいですね。栃木県の県庁へ訪問したことがあります。副知事さんと会話したときにこのことも言いました。副知事さんに、冗談で、「自分の体を他の人に見られるんじゃないかと、他の人の体も見るチャンスだと思ったほうがいいよ」と、発送の転換をすることを勧められましたが、中国にその習慣はありませんから、いつも思い切って入り口まで行くのですが、恥ずかしくてどうしても入れませんでした。そのまま帰ることになりました。

外国語の教師であった私には、異文化間のコミュニケーションというのは、それほど簡単なものではないと分かっていましたが、こんなに難しいこととはやはり想像もできませんでした。

また、日本へ来る前に、納豆のことを少し聞きました。いろいろな婉曲表現でしたが、それは一言でいうと、「恐ろしいもの」で、ぜんぜん口にできないとい

うことでした。私は納豆に挑戦してみたいと強く決心しました。そしてスーパーマーケットへ入り、日本人と同じように落ち着いて好きなふりしながら納豆を取りました。家へ帰って、その納豆をじっと見て、本当に恐ろしさもあれば、面白さもある食べ物だと思ひながら食べ始めました。

調味料を入れて十分に混ぜると、すぐネバネバになりました。その瞬間すでに後悔し始めましたが、少し食べてみることにしました。生まれて初めての味でした。もう少し食べてみると、口だけでなく、頭までネバネバになったような気もしました。しかし、思ったほどのまずい食べ物ではないですから、きつといい経験になるぞと思って、毎朝食べることにしました。そのうち、納豆は栄養豊富な食品ということも分かり、それからさらにどんどん食べて、だんだん好きになってきました。

これはいいじゃないかと私は異文化との接触の第一歩を踏み出しました。でも、経験が不十分なので、自分自身がやはりこの環境に溶け込んでいないなと時どき感じたことがあります。ちょうどそのころ、もう一つの扉が開かれました。

それは、ある有名なお茶の先生の茶庵をたずねることです。

露地の打ち水に、石も土も自然もしっとりと落ちていて、茶室の床の間にかけていたのは、日々是好日という掛け軸。毎日が幸せな日だという意味で、日本の茶道の理念が表れている言葉です。お茶が立てられ、その一服をいただきながら、先生と話し合うチャンスができました。

先生の話によると、形はありながらもその形から脱却して、自由な境地で文化を創造するというような心意気を持たなければ、茶道の文化、そして日本の文化は分からないそうです。先生の話聞いて、私は心の深いところに涼しいしずくを落とすように感じました。お茶はこんなに美しい、しかも素晴らしい芸術として、人間の心の中に残るときは、さすがに日本文化だと感激しました。

その瞬間、日本へ来てからずっとたまっていた違和感が雪が溶けるように消えてしまうように感じました。異文化との交流は、理解だけでなく、その文化の美しさを体験することがもっとも大事なことはないかと思いました。

#### 10月度理事役員会議事録

- 1) 千種RCホームページの件。  
http://chikusa-rotary-club.c-3.jp/
- 2) 新入会員候補者承認の件。
- 3) 年末家族会(12/15)開催の件。  
抽選会賞品  
(昨年度同様会長賞10万旅行券・理事役員賞1万果物券を寄贈)
- 4) 市邨学園創立100周年(浅井君)祝賀会の件。

#### ローターアクトクラブよりお知らせ

- ・11月7日(火) (通算第273回) 点鐘 19:30  
場 所: 名古屋ガーデンパレス  
メインテーマ: 業種交流  
担 当: 社会奉仕委員会
- ・11月15日(水) (通算第274回) 点鐘 18:30  
場 所: 名古屋テレビ塔4階「タワーレストラン」  
メインテーマ: 名古屋和合RCとの合同例会  
担 当: 役員

#### お知らせ(会場・事務局住所変更)

- ◎豊田ロータリークラブ  
例会場: 11月16日より  
〒471-0027 豊田市喜多町2-160  
ホテルトヨタキャッスル  
TEL (0565)31-2211 FAX (0565)31-3588
- ◎豊田東ロータリークラブ  
例会場: 11月22日より  
〒471-0027 豊田市喜多町2-160  
ホテルトヨタキャッスル  
TEL (0565)31-2211 FAX (0565)31-3588  
事務局: 11月6日より  
〒471-0027 豊田市喜多町2-160  
ホテルトヨタキャッスル 8F  
TEL (0565)34-4333 FAX (0565)34-4381
- ◎豊田中ロータリークラブ  
例会場: 11月17日より  
〒471-0027 豊田市喜多町2-160  
ホテルトヨタキャッスル  
TEL (0565)31-2211 FAX (0565)31-3588  
事務局: 11月4日より  
〒471-0027 豊田市喜多町2-160  
ホテルトヨタキャッスル 9F  
TEL (0565)36-0057 FAX (0565)36-0067

### ニコボックス

萩原喜代子

10月1日から1週間サンフランシスコ カナダ ヴィクトリアへ行ってまいりました

加藤重雄

高針福祉会の老人ホームの山口と保育園の金山がお世話になります

紺矢寛朗

本日は平出調理支配人に対する表彰誠にありがとうございます

お食事のもとじめです よろしく  
お願いします

和田正敏

職業奉仕賞を看護師岸田が受け  
させていただきます ありがとうございます  
います

油田弘佑

藤田千津子

服部正夫

伊豫田博明

足立一郎

二村 聡

伊藤 健文

小林 明

小山 雅弘

牧野登志子

大口 弘和

佐野 寛

鈴木 正男

竹内 眞三

吉田 節美

金木犀の香りも終わりに近づい

き柿の実が少し色

づいてきました

黒須アイ子

宮尾 紘司

佐久間良治

澤田 淳治

鈴木 理之

舎人 経昭

吉田 玄

合計

39,000円

## おたより (浅香ゆき財団奨学生より)

こんにちは。いかがお過ごしでしょうか？

私はとても元気にしています。先週は風邪で苦しみましたが、今は元気です。

第一回目のロータリー報告書の文書を添付します。スピーチ報告書と授業料の領収書は本部に送付しますが、必要であればお知らせください。コピーを送付します。

お体に気をつけて



オルボーグに到着してから、5週間が過ぎました。デンマークでの新しい生活は、驚きの連続です。300年以上昔の厳かな建物から、家々の窓を縁取る植木鉢、そして人々の生活態度には敬服するものがあります。このような、新しい文化に触れる機会をいただき、ロータリーに本当に感謝しています。

一ヶ月が過ぎ、オルボーグの地理もわかってきたので、ロータリー親善大使としての使命を果たす活動を、本格的に始めたいと思っています。

オルボーグ大学での学生生活には、本当に素晴らしいものがあります。学業カリキュラムは、[アルボーグモデル]と言われ、ヨーロッパの中でも特別な教育方法をとっています。問題研究に重点をおき、年間2つの論文をグループ研究に基づき提出します。私にとって、グループ研究は初めての経験なので、とても楽しみにしています。

第1学期はDIR(開発と国際関係)とES(ヨーロッパ研究)コースは同じ授業を履修し、第2学期からそれぞれの講義が始まります。現在の講義は、国際関係の枠組み、国際組織とその構造など、基礎知識を中心に構成されています。私たちのコースは、学生だけでなく、先生もヨーロッパ、北アメリカ、アフリカ、アジアと、多様な文化背景を持つ人材がそろっており、多くの意見が交わされとても面白いです。オルボーグ大学のカリキュラムは、学生に高い成果を期待しており、参加型の講義が中心なので、集中力と多量の読書を要します。私はこのようなモチベーションの高い環境で勉強できることをうれしく思います。

オルボーグの受け入れカウンセラー、Per Espensen氏は私を迎えに空港まで来てくださり、既にそのときは私に学生寮の鍵も受け取っておいてくださいました。慣れるまで大変だろうからと、少しの食べ物や食器も置いていってくださり、とても助かりました。その後は、デンマーク語の勉強にも役立つだろうからと、ラジオと小型テレビを持ってきてくれました。デンマーク語の勉強もがんばりたいと思っています。Espensen氏はロータリー例会に参加するための送り向かいや、ロータリーの仲間を紹介してくださり、ローターアクトの若者たちとも知り合うことができました。ロータリーの例会、ローターアクト、両方とも会議はデンマーク語で行われ、理解に苦しみますが、その後皆英語で説明してくれるので、助かります。また、会合に参加するのは、たくさんの人々と知り合えるだけでなく、デンマーク語を学ぶ場ともなるので、積極的に参加しています。この福祉社会の中で生活していると、多くのことを学べます。EU外からくる人々に対し、サービスがかなり低くなり、不平等を感じることもありますが、なぜそのような政策が採られているのかなど、勉強したいと思います。

この一ヶ月は新しい生活の準備や環境への戸惑いなどもあり、親善大使としての活動を十分にできませんでしたが、しかしIBISというアフリカと関係を持つNGOや大学の生徒会にも参加したので、彼らの力も借りて、多くの場所で私の経験や、私のいったことのある国の抱える問題などについて、スピーチをする機会を作っていきたいと思っています。

デンマークに着いたときから、特に私を驚かせたのは、人々の生活態度です。規則の従順や、他人を敬う姿は日本と似ているところがあります。また、バスに必ずベビーカーを置く場所が確保されていることや、自転車道の整備など、福祉国家の力がいたるところに見られ、感心します。デンマークのビール文化にはついていきませんが、彼らと同じ空間で同じ時間を過ごすことを楽しんでます。これからも、多くの人と知り合う機会があれば積極的に参加し、できるだけ多くのことを学びたいと思います。

次回例会

平成18年10月31日(火)

友愛の日